

まち

## 間知づくりプロジェクト M 1 : 医者村 (ミトロの森)

---

私たちは常に「居場所さがしの旅」をしている存在です。

快適な居場所には、それが住まいであろうと都市であろうとひとつのベクトルが働いている。(\*)

私たちがどちらを向いて立つかは、いかなる状況下でも重大な影響力を持つものです。同時に相対する関係においてはその距離感はとても大切です。方位と大きさはベクトルとして表示することができます。

すまいづくりもまちづくりも時間というステージの上で、ダイナミックにそして同時にスタティックに成長していくものです。時間というファクターは成長におけるキーワードである。成長するモデルはリニア型、或るいは円形型その他さまざまである。

当間知づくりのモデルはもっとも原始的な宇宙の成長型をモデル化したもの、ビッグバンである。ものすごいスピードとエネルギーを持って拡大膨張する形はまさに渦巻き型である。この渦巻きにはどこからでも膨張(成長)することができる仕組みが内蔵されている。個々の惑星は既然態としてそのシステムを受け継いでいる。どこにでも拡大膨張するエネルギーを持ち、どこでも立ち止まる力がある。

当間知プロジェクトは、6年で5診療所村として一度完成体を見たのであるが、再び成長する仕組みを持ち合わせているプロジェクトである。

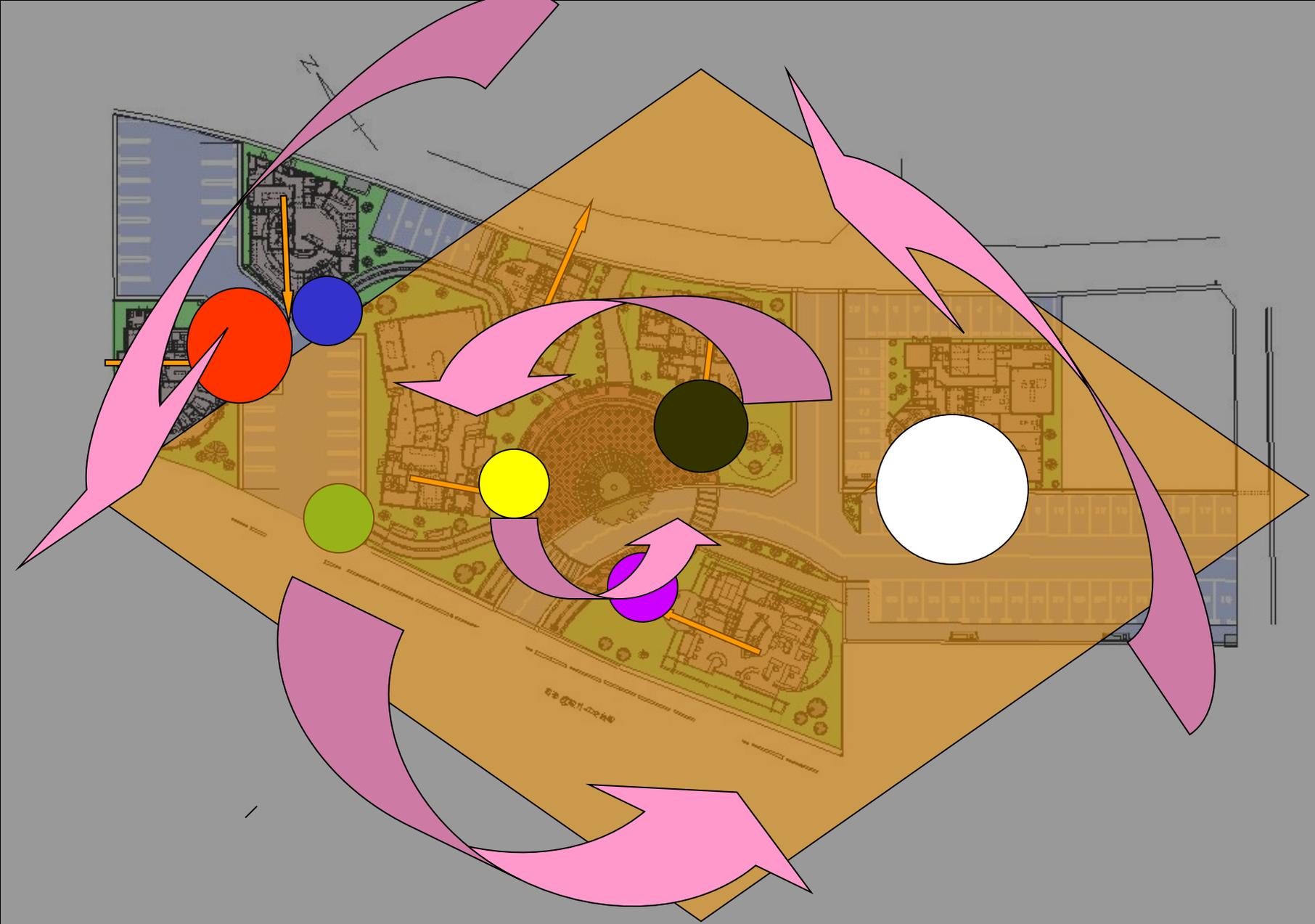
### \* 居場所のベクトル

- ・住まいは、すま居方の研究から！！居方は方向でもある。
- ・町は間知を極めることである！間知は大きさ(距離感)でもある。

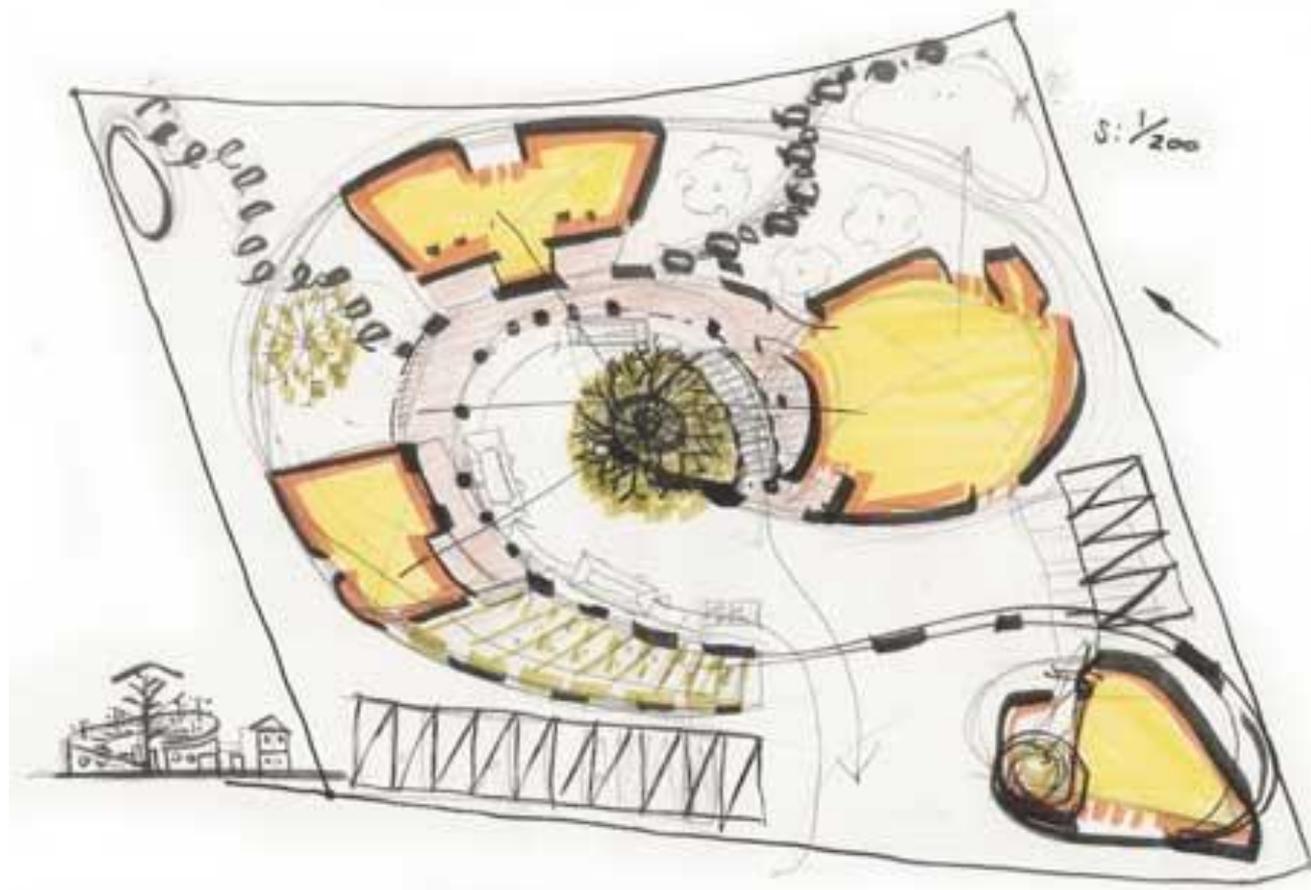


宇宙の姿を予感する

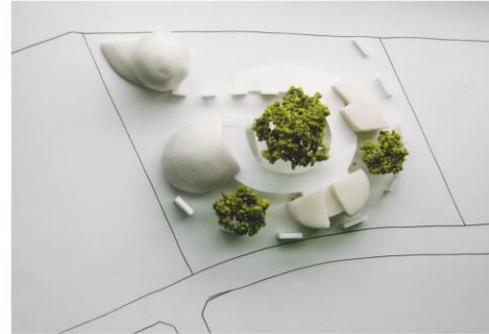
V.Kandinsky



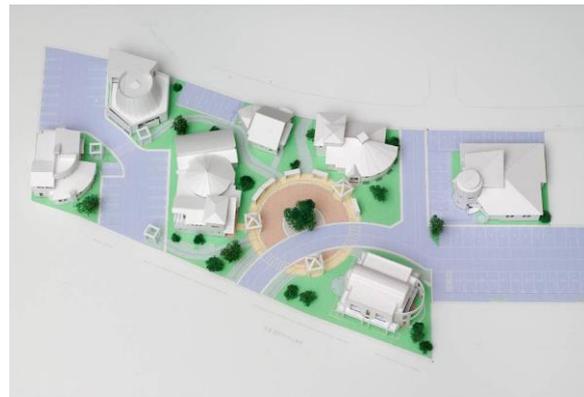
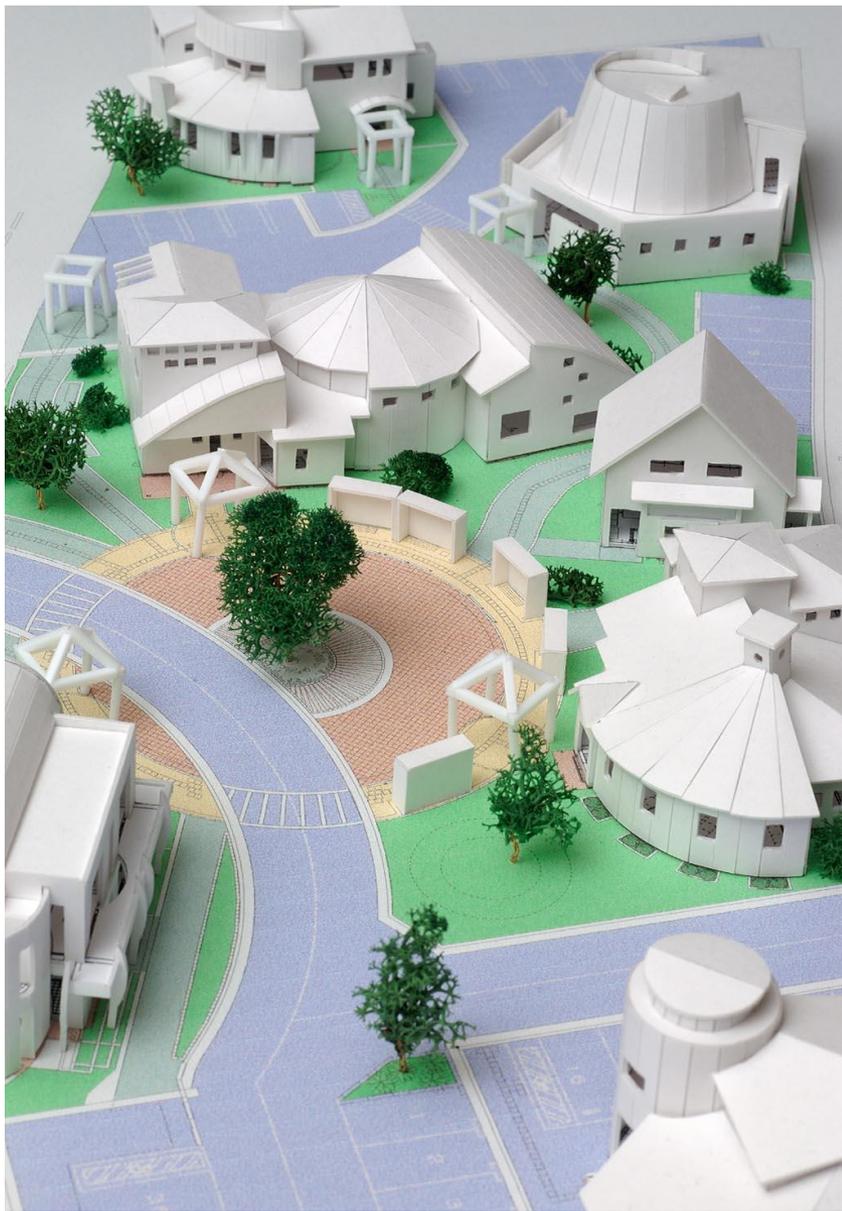
渦巻型の成長モデル



スケッチ



イメージ模型



完成模型



皮膚科

内科

森のシンボル(榎高木)

整形外科

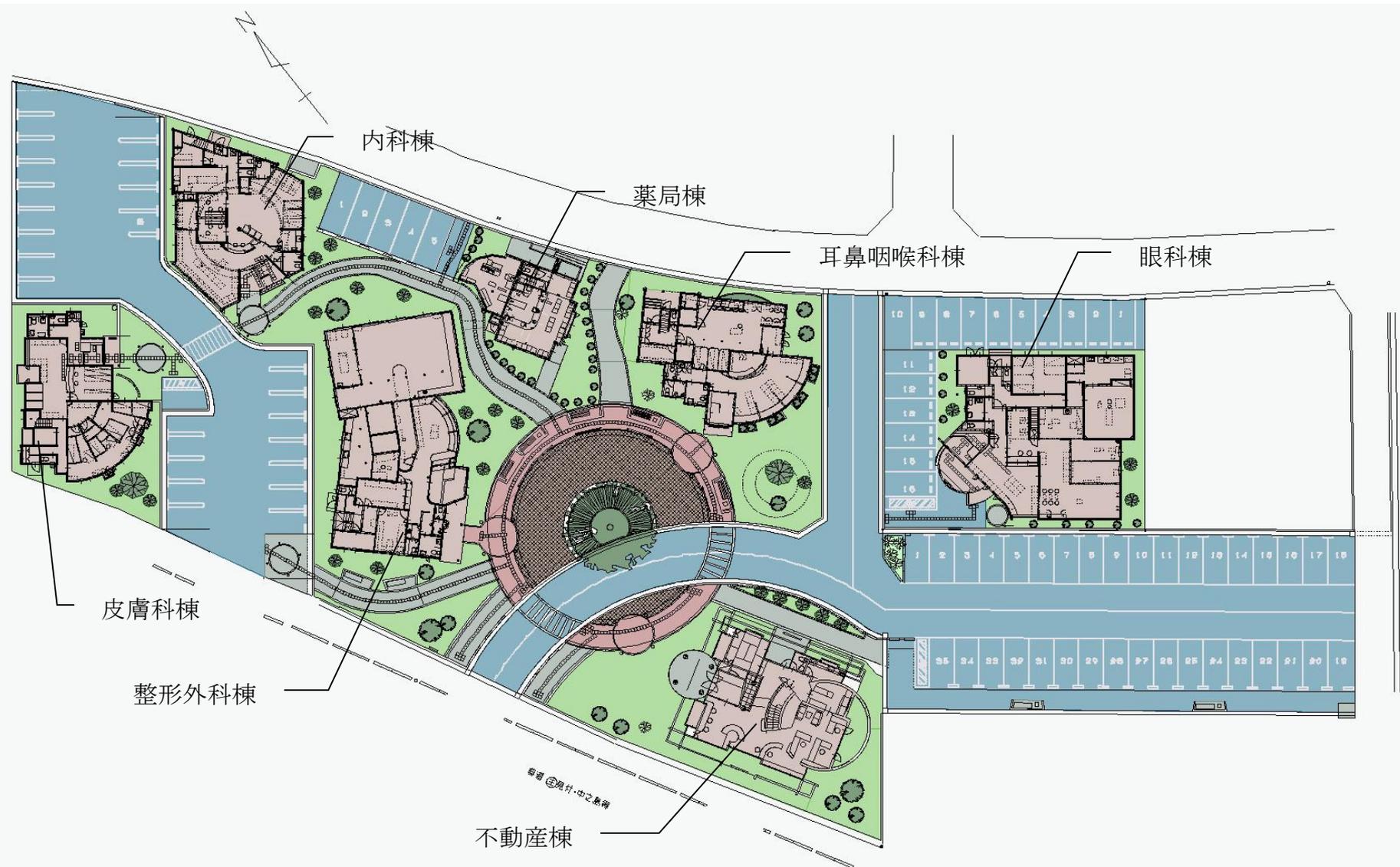
薬局

不動産事務所

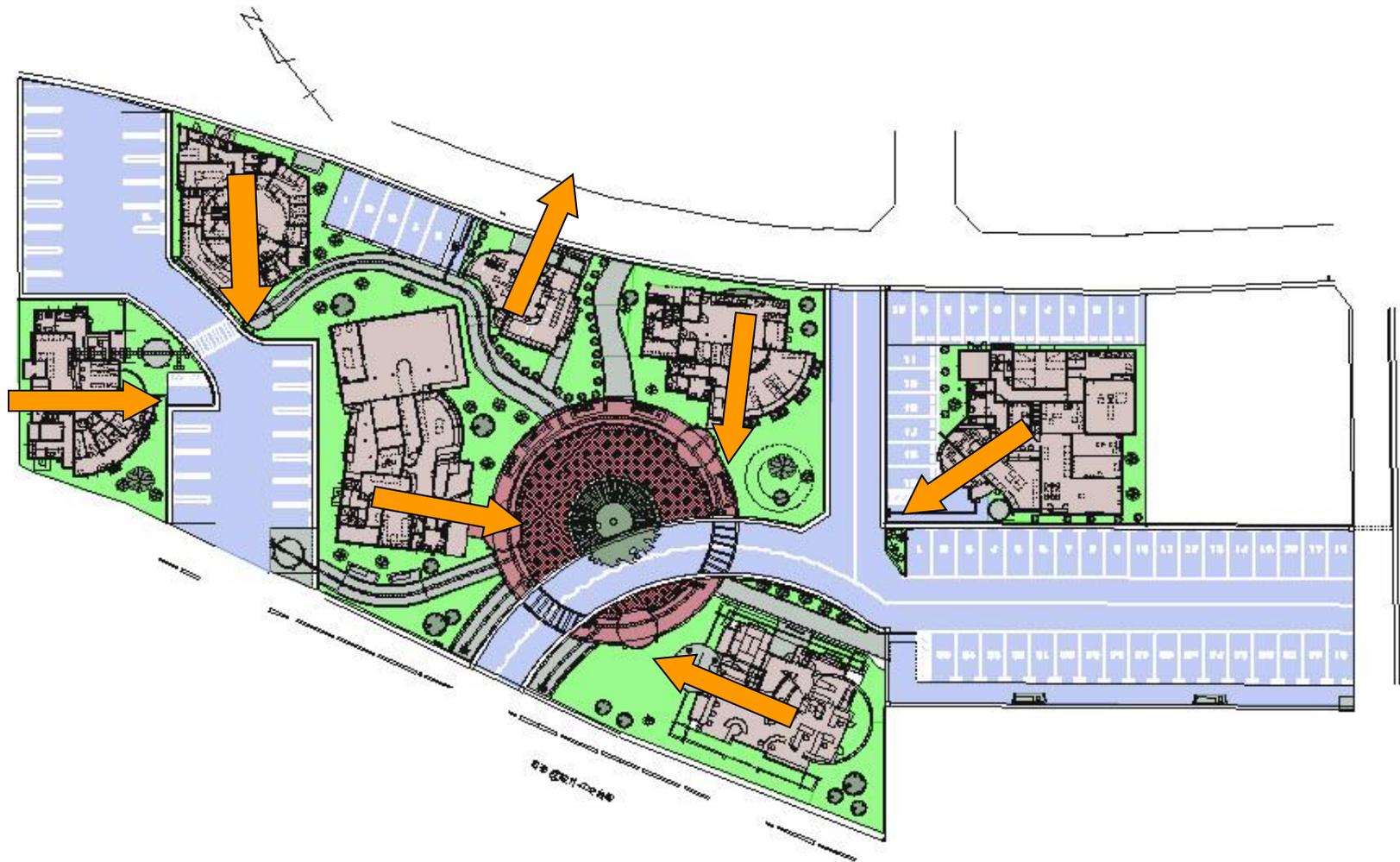
耳鼻咽喉科

眼科

外観パース



配置図



方向ベクトル(入り口は様々に向かう)

## みどりあふれる広場を核に、自然と人間の共生

宇宙が創られた時のような渦のコアをモデル化したものです。  
その渦のまわりに惑星があるように各診療所棟を配置してみました。  
それぞれの棟は、パーゴラ風ゲートからアプローチします。  
各診療所は自由な方向を向き、隣棟間は程よい距離をもってあります。



創生期



成長期



第一期 完成期

惑星 1



## 星整形外科医院

整形外科棟は、外部からも垣間見られる待合室。  
内部中待合室より天井を見ると、傘のような化粧梁は、  
小宇宙のビッグバーン。

診療室は、木をふんだんに使ったヒーリングスペース  
様々な曲線がとかく厳しくなりがちな診療所にやすらぎを与えてくれます。  
傷ついた人達の癒しの空間でもあるわけです。



惑星 2



## いぐち耳鼻咽喉科医院

外観は、耳のお医者さん “みみずく” をイメージ。

内は、中央のトップライトから、陽射しが木洩れ日のように流れ込み、

こんもりと繁った森を連想させてくれます。

ふんだんに使われた自然素材、木材と、内部壁に珪藻土を使い体も心もまさに癒しのスペース！

待合室には、先生の趣味を生かしたギャラリーコーナーを設け、

コミュニケーションに役かってくれることを期待しております。



惑星 3



## おがわ眼科クリニック

外観は親鳥が羽を広げ卵を温めているようなイメージ。  
内部空間は木立をイメージした群柱が玄関ホール・待合と続き、  
中待合に入るとトブライトから木漏れ日が差し込む、  
やさしいモクード（木のストラクチャーデザイン）空間になっています。



惑星 4



## 貝瀬皮膚科医院

森の星見台のお医者さん

今夜は、星が瞬くきれいな空が広がっています。

森の星見台では、森のみんなが集まり、そのきれいな星たちに見入っています。

あれが、北極星・北斗七星・カイトペア座・M78星雲??

望遠鏡を片手に先生が教えてくれます。

昼は、望遠鏡を顕微鏡に換え皮膚を患う患者さんの治療にあたっています。



惑星 5



## 林内科医院

ニックネームは「ボルケーノ（火山）」です。  
室内の高い円形天井は、そのまま外観のシンボリック存在にもなっています。

先生のお名前はドクター林。  
森にはぴったりな主人公。後は風さえ起きれば、  
まさに風林火山！

